



## NEWS RELEASE

報道資料

2009年11月12日

(日本時間)

### アプライド マテリアルズ 2009年度第4半期の業績を発表

- ・ 半導体装置事業が業績を牽引、第4四半期は黒字を回復
- ・ 事業構造の刷新によりグローバル市場でのリーダーシップ強化と4億5,000万ドルのコスト削減
- ・ 2010年度は30%以上の売上高成長を予想

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 11 月 11 日 (現地時間)、2009 年度第 4 四半期 (期末 : 2009 年 10 月 25 日) の業績を発表しました。売上高は 15 億 3,000 万ドル、GAAP ベースの純利益は 1 億 3,800 万ドル (一株当たり 0.10 ドル) でした。2009 年度通年の業績は、売上高 50 億 1,000 万ドル、GAAP ベースの純損失 3 億 500 万ドル (一株当たり 0.23 ドル) でした。

非 GAAP ベースでの、第 4 四半期純利益は 1 億 7,700 万ドル (一株当たり 0.13 ドル)、通年の純利益は 3,700 万ドル (一株当たり 0.03 ドル) でした。

会長兼 CEO のマイケル・スプリンターは次のように述べています。「アプライド マテリアルズの第 4 四半期の業績は堅調でした。半導体製造装置事業の売上高と利益が伸びたほか、すべての事業セグメントで需要と財務内容が改善しています。当社は年間を通して全事業の成長に向けた投資を行い、新製品の投入、新市場への進出と合わせて構造的なコスト削減を進めました」

アプライド マテリアルズは 2009 年に太陽電池製造装置のサプライヤーで首位になったほか、先日は非政府系としては世界最大のソーラーエネルギー研究施設を中国・西安にオープンしました。アプライド マテリアルズのエネルギー&エンバイロメンタルソリューションズ事業は、3 年足らずで年間売上高が 10 億ドルを超え、2010 年度には非 GAAP ベースで損益分岐点に到達、または黒字になると期待されます。

「アプライド マテリアルズは 2006 年以来、ナノマニュファクチャリングにおけるリーダーシップを半導体やディスプレイだけでなくソーラー分野にも拡大してきました。この間

に、いずれの事業分野においても、お客様や地域分布に変化が見られました。当社はこうした変化に対応して事業構造を見直し、お客様や株主の皆様にもたらず価値をさらに高めています」とスプリンターは話しています。

アプライド マテリアルズは 2010 年度に以下のような方策を通じてグローバル市場でのリーダーシップを強化し、事業効率を高める考えです。

- ・ 営業機能を各事業グループ内に組み入れ、お客様の動向や市場機会への識見を深める
- ・ 製造とサプライチェーンを統合し、お客様やサプライヤーとより緊密に連携する
- ・ 各種のコスト削減措置とリストラクチャリング計画の実施を通じて、最終的には年換算で約 4 億 5,000 万ドルのコスト節減を達成する見通し

アプライド マテリアルズは、このリストラクチャリング計画に基づき、向こう 18 カ月間に全世界で約 1,300~1,500 人の人員削減を行う予定です。この計画に伴う税引前の経費は 1 億ドル~1 億 2,500 万ドルと予想され、そのほとんどは 2010 年度第 1 四半期に計上される予定です。

上記の 4 億 5,000 万ドルというコスト節減予想は、2009 年度にすでに達成した 4 億 6,000 万ドルの構造的コスト削減とは別枠です。

#### 業績見通し

アプライド マテリアルズは 2010 年度、30%以上の売上高の伸びを予想しています。

#### GAAP ベースの業績

	2009年度第4四半期	2009年度第3四半期	2008年度第4四半期
売上高	15億3,000万ドル	11億3,000万ドル	20億4,000万ドル
純利益 (損失)	1億3,800万ドル	(5,500万ドル)	2億3,100万ドル
一株当たり利益 (損失)	\$0.10	(\$0.04)	\$0.17

	2009年度	2008 年度
売上高	50億1,000万ドル	81億3,000万ドル
純利益 (損失)	(3億500万ドル)	9億6,100万ドル
一株当たり利益 (損失)	(\$0.23)	\$0.70

非 GAAP ベースの業績

	2009年度第4四半期	2009年度第3四半期	2008年度第4四半期
純利益 (損失)	1億7,700万ドル	(200万ドル)	2億6,400万ドル
一株当たり利益 (損失)	\$0.13	(\$0.00)	\$0.20

	2009年度	2008年度
純利益 (損失)	3,700万ドル	12億ドル
一株当たり利益 (損失)	\$0.03	\$0.87

非 GAAP ベースの業績は、次の要因の影響を適宜除外しています：投資減損、株式ベースの報酬、リストラクチャリングと資産減損、買収関連のコスト、イオン注入装置の開発終了にかかるコスト、設備売却益、法人所得税監査の結果に関連した調整額。本リリース末尾の財務諸表中に「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」を掲載しています。

受注高と受注残高の概要

当四半期の新規受注高は合計 14 億 7,000 万ドルで、地域別比率は東南アジアおよび中国 38%、韓国 20%、台湾 15%、北米 14%、日本 8%、ヨーロッパ 5%でした。シリコンシステムズグループ (SSG) における新規受注の内訳は、ファンドリー 37%、ロジックその他 26%、DRAM 21%、フラッシュ 16%となっています。第 4 四半期末の受注残高は 27 億 3,000 万ドルで、前四半期の 29 億 5,000 万ドルを下回りました。

セグメント別の状況

	2009年度第4四半期			2009年度第3四半期			2008年度第4四半期		
	新規受注	売上高	営業利益 (損失)	新規受注	売上高	営業利益 (損失)	新規受注	売上高	営業利益 (損失)
単位：100万									
シリコンシステムズグループ	\$629	\$656	\$158	\$542	\$498	\$56	\$1,162	\$744	\$177
アプライドグローバルサービス	\$335	\$390	\$64	\$298	\$343	\$24	\$496	\$528	\$123
ディスプレイ	\$151	\$200	\$43	\$96	\$69	(\$5)	\$65	\$334	\$113
エネルギー&エンバイロメンタルソリューションズ	\$357	\$280	(\$30)	\$136	\$224	(\$53)	\$490	\$438	\$21

単位：100万	2009年度			2008年度		
	新規受注	売上高	営業利益(損失)	新規受注	売上高	営業利益(損失)
シリコンシステムズグループ	\$1,677	\$1,960	\$152	\$4,092	\$4,005	\$1,242
アプライドグローバルサービス	\$1,179	\$1,397	\$113	\$2,249	\$2,329	\$575
ディスプレイ	\$287	\$502	\$65	\$1,486	\$976	\$310
エネルギー&エンバイロメンタルソリューションズ	\$955	\$1,155	(\$242)	\$1,329	\$819	(\$183)

#### 非 GAAP ベースの財務指標の利用について

当社の経営陣は、ビジネス目標と比較した営業成績や財務成績の評価ならびに計画立案に、非 GAAP ベースの業績を用いています。これらの財務指標は GAAP（一般会計原則）に沿ったものではなく、また他社の用いる非 GAAP ベースの会計報告手法とは異なる場合があります。こうした指標は、投資家の皆様が経営陣と同じ視点で当社の事業を検討し、過去の会計期と当期の業績を比較する上で役立つと考えています。この追加情報の提示をもって GAAP に基づく業績データを代替することは意図しておりません。

#### 将来予想に関する記述について

本プレスリリースには、当社の業績、計画中の新しい事業組織と効率化、リーダーシップの位置づけ、エネルギー&エンバイロメンタルソリューションズ部門の 2010 年度利益見通し、お客様動向、コスト削減施策、リストラクチャリング計画（その規模、費用、時期を含む）、予想されるコスト節減額、2010 年度の売上高見通し、その他に関する将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした将来見通しを記述した文章には、「期待する」「確信する」「するかもしれない」「し得る」「すべき」「する予定」「予測する」ないしこれに類した表現や、こうした記述の前提をなす仮定が含まれる場合があります。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と大きく異なる場合があります。このようなリスクや不確定要素としては、①ナノマニュファクチャリングテクノロジー製品への需要水準（グローバル

な経済・業界動向の不確実性、不況の続く期間と深刻度、顧客企業が十分な資本を確保する能力、事業支出や個人消費、エレクトロニクス製品や半導体への需要、再生可能エネルギーに関する政府の政策や奨励策、顧客企業の工場稼働率と最新技術を採用した設備を含む生産設備ニーズなどの影響を受ける)、②対象市場における事業環境の違いに起因する社内セグメント間での営業費用と業績のばらつき、③当社が(i)広範な製品を開発・提供・サポートして既存市場を拡大し、新市場を開拓する能力、(ii)効果的なコスト削減プログラムをタイムリーに実践・維持して期待通りの利益を実現し、コスト構造を事業環境に適合させる能力、(iii)サプライチェーンを含めたリソースや生産能力を計画・管理する能力、(iv)グローバルな業務拡充と効率向上に向けた各種イニシアチブ (IT、ビジネスプロセス、アウトソーシング、事業所移転その他) を実施する能力、(v)主要テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力、(vi)主要社員を引き付け、意欲を高め、引き留める能力、(vii)経営・財務の将来の業績 (市況、ビジネスニーズ、社員の採用と離職、買収と売却、労働・雇用に関する米国内法および国際法への準拠その他に関する複数の仮定に依存する) を正確に予測する能力、④その他、当社が証券取引委員会 (SEC) に提出する書類に記載しているリスクがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベーティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ : <http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 11 月 11 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 (本社: 東京都、代表取締役社長: 渡辺徹) は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インベスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646) / etsuko\_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---

## APPLIED MATERIALS, INC.

## 連結要約損益計算書

(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)	3ヵ月期末		12ヵ月期末	
	2009年 10月25日	2008年 10月26日	2009年 10月25日	2008年 10月26日
純売上高	\$1,526,394	\$2,043,677	\$5,013,607	\$8,129,240
売上原価	<u>967,558</u>	<u>1,244,972</u>	<u>3,582,802</u>	<u>4,686,412</u>
売上総利益	558,836	798,705	1,430,805	3,442,828
営業費用：				
研究開発費及び技術費	234,188	275,222	934,115	1,104,122
一般管理費	76,138	138,410	406,946	505,762
販売費	79,261	100,131	327,572	459,402
リストラクチャリング、資産減損	(3,693)	(9,686)	155,788	39,948
設備売却益	<u>—</u>	<u>21,837</u>	<u>—</u>	<u>21,837</u>
営業利益（損失）	172,942	316,465	(393,616)	1,355,431
税引前の持分法投資損失	—	9,867	34,983	35,527
持分法投資及び戦略的投資の減損	5,058	—	84,480	—
支払利息	5,359	4,846	21,304	20,506
受取利息	<u>11,323</u>	<u>20,937</u>	<u>48,580</u>	<u>109,320</u>
税引前利益（損失）	173,848	322,689	(485,803)	1,408,718
法人所得税（戻し）	<u>35,986</u>	<u>91,594</u>	<u>(180,476)</u>	<u>447,972</u>
純利益（損失）	<u>\$ 137,862</u>	<u>\$ 231,095</u>	<u>\$ (305,327)</u>	<u>\$ 960,746</u>
一株当たり利益（損失）：				
基本	\$ 0.10	\$ 0.17	\$ (0.23)	\$ 0.71
希薄化後	\$ 0.10	\$ 0.17	\$ (0.23)	\$ 0.70
期中平均株式数：				
基本	1,338,134	1,338,227	1,333,091	1,354,176
希薄化後	1,347,691	1,350,092	1,333,091	1,374,507

## APPLIED MATERIALS, INC.

## 連結要約貸借対照表

(単位：千ドル)	2009年 10月25日	2008年 10月26日
資産の部		
流動資産：		
現金及び現金同等物	\$ 1,576,381	\$ 1,411,624
短期投資	638,349	689,044
売掛金（貸倒引当金として2009年と2008年に それぞれ67,313千ドルと5,275千ドルを差引後）	1,041,495	1,691,027
棚卸資産	1,627,457	1,987,017
繰延税金資産	356,336	388,807
未収法人所得税	184,760	125,605
その他流動資産	<u>264,169</u>	<u>371,033</u>
流動資産合計	5,688,947	6,664,157
長期投資	1,052,165	1,367,056
有形固定資産	2,906,957	2,831,952
減価償却費累計	<u>(1,816,524)</u>	<u>(1,737,752)</u>
有形固定資産純額	1,090,433	1,094,200
営業権	1,170,932	1,174,673
買収技術及びその他無形資産	306,416	388,429
持分法投資	—	79,533
繰延税金資産及びその他資産	<u>265,350</u>	<u>238,270</u>
資産合計	<u>\$ 9,574,243</u>	<u>\$11,006,318</u>
負債及び資本の部		
流動負債：		
一年内返済予定長期債務	\$ 1,240	\$ 1,068
買掛金及び未払費用	1,058,015	1,545,355
顧客預かり金及び繰延収益	864,280	1,225,735
未払法人所得税	<u>15,922</u>	<u>173,394</u>
流動負債合計	1,939,457	2,945,552
長期債務	200,654	201,576
その他負債	<u>339,524</u>	<u>310,232</u>
負債合計	<u>2,479,635</u>	<u>3,457,360</u>
資本：		
普通株式	13,409	13,308
資本準備金	5,195,437	5,095,894
利益剰余金	10,934,004	11,601,288
自己株式	(9,046,562)	(9,134,962)
その他の包括損益累計額	<u>(1,680)</u>	<u>(26,570)</u>
資本合計	<u>7,094,608</u>	<u>7,548,958</u>
負債及び資本合計	<u>\$ 9,574,243</u>	<u>\$11,006,318</u>

APPLIED MATERIALS, INC.  
連結要約キャッシュフロー計算書

(単位：千ドル)	12ヵ月期末	
	2009年 10月25日	2008年 10月26日
営業活動によるキャッシュフロー：		
純利益（損失）	\$ (305,327)	\$ 960,746
営業活動で得た（使用した）現金と純利益（損失）との調整：		
減価償却費	291,203	320,051
有形固定資産処分損	24,017	6,826
貸倒引当金	62,539	—
リストラクチャリングと資産減損	155,788	39,948
繰延税金	18,863	(58,259)
株式ベース報酬プランに対する税控除の超過分	—	(7,491)
計上された純投資損失（利益）	10,231	4,392
税引前の持分法投資損失	34,983	35,527
持分法投資及び戦略的投資の減損	84,480	—
株式ベース報酬	147,160	178,943
営業資産負債の増減（買収額差引後）：		
売掛金	586,993	424,290
棚卸資産	359,560	(638,256)
その他流動資産	94,740	94,247
その他資産	(6,530)	(394)
買掛金及び未払費用	(659,293)	(260,041)
顧客預かり金及び繰延収益	(361,455)	622,645
法人所得税	(288,283)	8,126
その他負債	83,709	(20,832)
営業活動による取得現金	<u>333,378</u>	<u>1,710,468</u>
投資活動によるキャッシュフロー：		
資本支出	(248,427)	(287,906)
買収による支払現金（取得現金差引後）	—	(235,324)
設備売却益	—	42,210
投資有価証券の売却及び満期償還による収入	1,317,365	5,939,509
投資有価証券の購入	(956,249)	(5,534,475)
投資活動による取得（支払）現金	<u>112,689</u>	<u>(75,986)</u>
財務活動によるキャッシュフロー：		
借入金の返済	(750)	(2,117)
普通株式発行による収入	61,824	393,978
普通株式買戻し	(22,906)	(1,499,984)
株式ベース報酬プランに対する税控除の超過分	—	7,491
株主への配当金支払額	(320,220)	(325,405)
財務活動に充当した現金	<u>(282,052)</u>	<u>(1,426,037)</u>
為替レート変動による現金及び現金同等物への影響	742	457
現金及び現金同等物の増加額	<u>164,757</u>	<u>208,902</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>1,411,624</u>	<u>1,202,722</u>
現金及び現金同等物の期末残高	<u>\$ 1,576,381</u>	<u>\$ 1,411,624</u>
補足的キャッシュフロー情報：		
法人税の現金支払額	\$ 134,240	\$ 368,459
利息の現金支払額	\$ 14,372	\$ 14,580

APPLIED MATERIALS, INC.  
GAAP と非 GAAP データの差異調整表

	3 ヶ月期末			12 ヶ月期末	
	2009 年 10 月 25 日	2009 年 7 月 26 日	2008 年 10 月 26 日	2009 年 10 月 25 日	2008 年 10 月 26 日
<u>非GAAP ベースの純利益 (損失)</u>					
報告上の純利益 (損失) (GAAP ベース)	\$ 137,862	\$ (54,865)	\$ 231,095	\$ (305,327)	\$ 960,746
株式ベース報酬の費用	31,046	43,334	43,778	147,160	178,943
買収に関連した一部項目 <sup>1</sup>	22,425	22,425	35,320	95,699	138,611
設備売却益	-	-	(21,837)	-	(21,837)
リストラクチャリングと資産減損 <sup>2,3,4</sup>	(3,693)	-	(9,686)	155,788	39,948
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用 <sup>5</sup>	-	-	-	-	1,436
持分法投資及び戦略的投資の減損	5,058	2,341	-	84,480	-
非 GAAP ベースの調整と 過去の法人所得税申告への監査結果が 法人所得税に及ぼした税効果	(15,490)	(14,791)	(14,765)	(141,260)	(99,834)
非GAAP ベースの純利益 (損失)	\$ 177,208	\$ (1,556)	\$ 263,905	\$ 36,540	\$ 1,198,013
<u>非GAAP ベースの純利益 (損失) (希薄化後一株当たり)</u>					
報告上の希薄化後一株当たり利益 (損失) (GAAP ベース)	\$ 0.10	\$ (0.04)	\$ 0.17	\$ (0.23)	\$ 0.70
株式ベース報酬の費用	0.02	0.02	0.02	0.08	0.09
買収に関連した一部項目	0.01	0.01	0.02	0.05	0.07
設備売却益	-	-	(0.01)	-	(0.01)
リストラクチャリングと資産減損	-	-	-	0.08	0.02
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用	-	-	-	-	-
持分法投資及び戦略的投資の減損	-	-	-	0.05	-
非 GAAP ベースの純利益 (損失) (希薄化後一株当たり)	\$ 0.13	\$ (0.00)	\$ 0.20	\$ 0.03	\$ 0.87
一株当たり利益の算出に用いた 希薄化後株式数	1,347,691	1,333,278	1,350,092	1,339,675	1,374,507

<sup>1</sup> 買収に起因する費用の増分。売却製品に関する棚卸資産公正価値の調整額と、購入した無形資産の償却からなっています。

<sup>2</sup> 2009 年 10 月 25 日に終了した四半期の業績には、リストラクチャリング準備金の調整額 400 万ドルが含まれています。2009 年 10 月 25 日に終了した 12 カ月間の業績には、ウェーハ洗浄装置に関連した資産減損費用 1,500 万ドルと、2008 年 11 月 12 日に発表したリストラクチャリングプログラムに関連した費用 1 億 4,100 万ドルが計上されています。

<sup>3</sup> 2008 年 10 月 26 日に終了した四半期の業績には、リストラクチャリング準備金の調整額 1,000 万ドルが含まれています。2008 年 10 月 26 日に終了した 12 カ月間の業績には、グローバルなコスト削減計画に関連したリストラクチャリング費用 2,900 万ドルが計上されています。

<sup>4</sup> 2008 年 10 月 26 日に終了した 12 カ月間の業績には、ビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したリストラクチャリング費用と資産減損費用 1,100 万ドルが計上されています。

<sup>5</sup> 2008 年 10 月 26 日に終了した 12 カ月間の業績には、ビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したその他の営業費用 100 万ドルが計上されています。

### 非GAAPベースの業績予想について

アプライド マテリアルズは、エネルギー&エンバイロメンタルソリューションズ (EES) 事業が2010年度に非GAAPベースで黒字に転じると予想していますが、その前提にはEES事業の純売上高が2010年度に少なくとも10億ドルに達するとの想定と、収益ミックスに関する仮定が含まれるほか、買収関連費用の予想額5,000万ドルは除外しています。